

令和4年度決算状況

町体育館耐震補強・大規模改修工事が完了

令和4年度一般会計及び特別会計の決算が、9月議会で認定されました。一般会計・特別会計の6会計を合わせた決算は、歳入総額が128億8,880万1千円(前年度対比+4.5%)、歳出総額は127億3,621万5千円(同+4.6%)となりました。歳入から歳出を差し引いた額は1億5,258万6千円となり、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は7,191万1千円の黒字となりました。

〈一般会計〉

歳入 82億8,637万3千円

「町税」について、町民税の個人分は前年度対比12.0%の減となったものの、法人分はコロナ禍から企業の業績は回復基調により、60.6%と大幅の増、固定資産税は6.3%の増、町たばこ税も増額になったことから、町税全体では、7.3%、1億8,788万7千円の増収となりました。

「地方交付税」は、町が標準的な税収入見込み額をもって標準的な行政サービスや施設維持を行った場合の財源不足額を国から交付される制度で、普通交付税と特別交付税があります。4年度の普通交付税は、『町の標準的な行政運営を行うために必要な経費見込み』が増額算定されたことに加え、国の補正予算により、地方交付税の総額が増額となったことで、交付額は前年度対比14.3%の増、特別交付税においても増額となったことから、「地方交付税」全体では13.3%の増となりました。

「町債」は、道路改良事業、橋梁修繕事業、町体育館耐震補強工事等に充てる借入をしましたが、臨時財政対策債の減額により、34.3%の減、歳入全体では、前年度に比べ1.4%、1億1,082万2千円の増額となりました。

歳出 81億7,749万5千円

4年度は、「坂城町第6次長期総合計画」で定めた町の将来像「輝く未来を奏でるまち」の実現に向け各種事業を実施しました。性質別に見ると、「投資的経費」は、町体育館耐震補強・大規模改修工事、開館20周年を迎えた「びんぐし湯さん館」リニューアル改修工事、継続事業の道路改良事業や橋梁修繕事業などを実施し、総額では、前年度対比35.6%の増となりました。

「義務的経費」は、人件費が1.1%、公債費が2.1%増加しましたが、子育て世帯や住民税非課税世帯等を対象とした臨時特別給付金の支給事業の減等により扶助費が28.6%減少となりました。

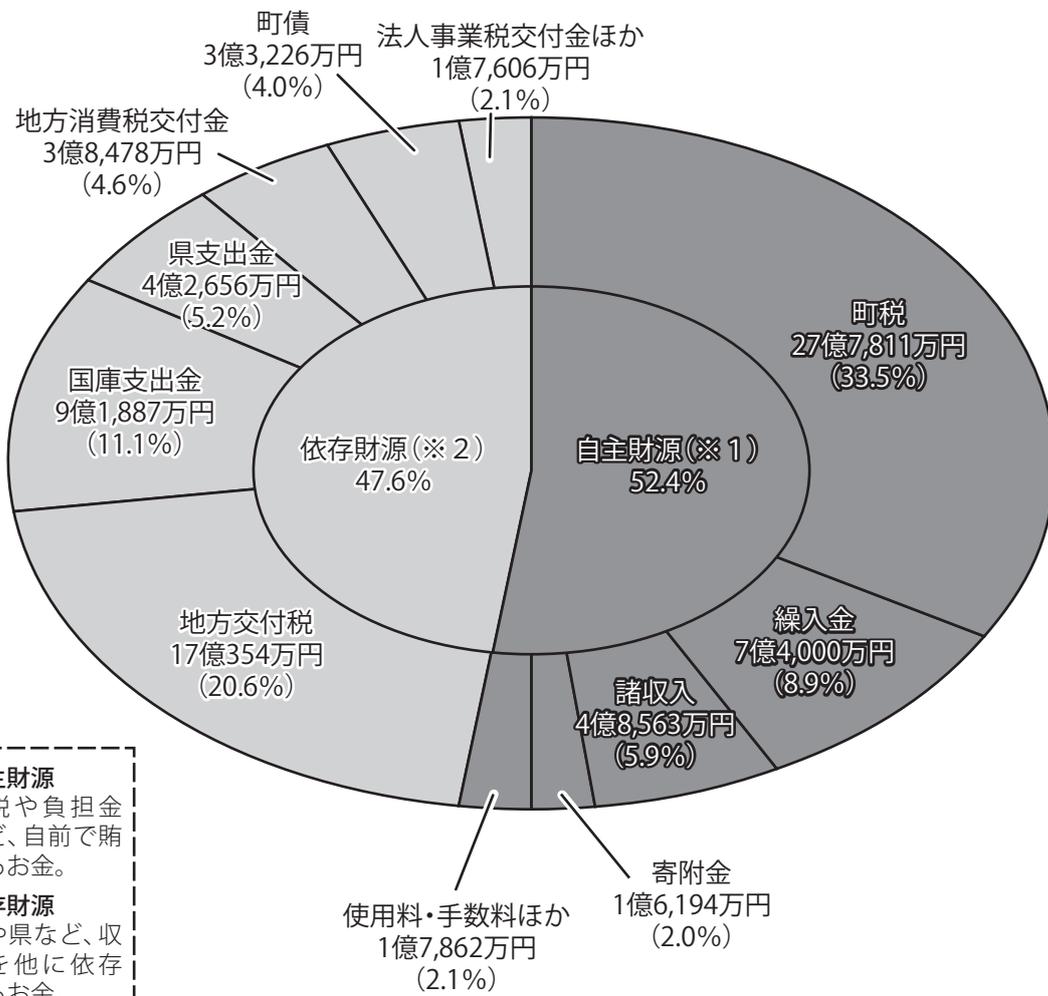
「その他経費」は、さかきのお店応援券事業やねずこんスタンプラリー事業など事業者や町民への新型コロナウイルス感染症拡大による支援に加え、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業、農業資材価格等高騰対策事業など、原油高・物価高騰の影響に伴う支援策などを実施し、補助費等が17.3%増加となり、歳出全体では、前年度に比べ、1.1%、8,810万5千円の増額となりました。

会計別決算額

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	8,286,373	8,177,495	108,878	
特別会計	4,602,428	4,558,720	43,708	
特別会計の内訳	国民健康保険	1,366,755	1,365,275	1,480
	工業地域開発	780,816	780,816	0
	下水道事業	822,787	804,233	18,554
	介護保険	1,384,845	1,361,176	23,669
	後期高齢者医療	247,225	247,220	5
合計	12,888,801	12,736,215	152,586	

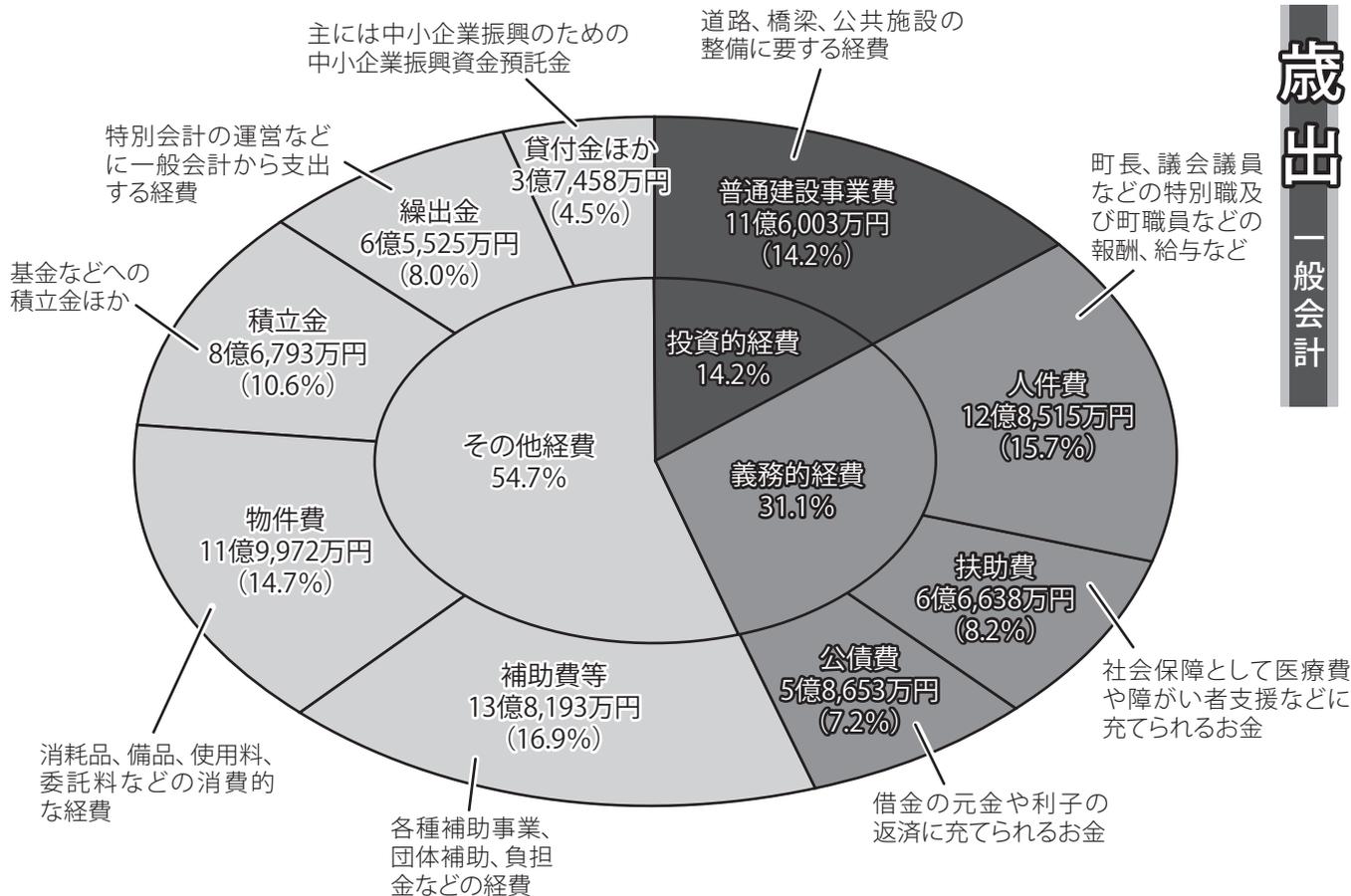
歳入
— 一般会計



※1 自主財源
町税や負担金など、自前で賄えるお金。

※2 依存財源
国や県など、収入を他に依存するお金。

歳出
— 一般会計



4年度の主な事業(単位:千円)

総務費 1,467,609 (歳出に占める割合:18.0%)

温泉管理事業(町温泉施設改修工事ほか).....	405,799
まちづくり推進事業(地域づくり活動支援ほか).....	163,668
ふるさと納税事業.....	65,728
住民税非課税世帯等特別臨時給付金給付事業.....	57,234
選挙費(参議院議員、長野県知事ほか).....	21,933

民生費 2,290,608 (28.0%)

老人福祉事業(敬老祝、介護予防、特別会計繰出金ほか).....	521,230
心身障がい者等福祉事業(介護・訓練給付ほか).....	381,872
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業.....	65,528
児童福祉関係事業(児童手当、子ども医療給付ほか).....	298,193
保育園・子育て支援センター・児童館.....	346,465

衛生費 453,327 (5.5%)

予防・健康増進事業(予防接種、各種検診).....	190,514
ごみ・し尿処理関係事業.....	186,216
(長野広域連合、葛尾組合、千曲衛生施設組合負担金ほか)	

農林水産業費 270,508 (3.3%)

農業振興費.....	43,180
(地域営農推進、有害鳥獣対策、さかきワイン文化推進事業ほか)	
農地費.....	69,301
(農道等基盤整備、町単補助、多面的機能支払交付金事業)	
林業振興・林道事業費.....	81,806
(松くい虫防除、町有林・林道管理)	

商工費 664,493 (8.1%)

中小企業対策事業(資金貸付預託金、保証料補給等).....	373,414
中心市街地活性化事業.....	30,044
新型コロナウイルス緊急対策事業.....	99,963
テクノセンター支援事業.....	46,183

土木費 779,991 (9.5%)

道路新設改良費(A01号線ほか).....	52,316
橋梁新設改良費(橋梁修繕事業).....	155,745
下水道事業特別会計繰出金.....	292,000
花と緑のまちづくり・公園管理事業.....	56,832
(さかき千曲川バラ公園整備ほか)	
高速交通総務費.....	58,266
(循環バス、鉄道軌道安全輸送設備整備等負担金)	

消防費 289,563 (3.5%)

常設消防費(千曲坂城消防組合負担金等).....	222,577
消防施設費.....	25,764
(消防ポンプ自動車購入、消火栓工事負担金等)	

教育費 1,246,932 (15.3%)

私立幼稚園補助事業.....	57,285
GIGAスクール構想推進事業.....	28,311
小中学校費(学校管理、教育振興).....	152,652
図書館・公民館等運営事業.....	79,123
文化財保護費(埋蔵文化財発掘調査、歴史館管理).....	26,705
体育施設整備事業.....	304,049
(町体育館耐震補強・大規模改修工事ほか)	
食育・学校給食センター運営事業.....	133,412

特別会計

地方公共団体が特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して、特定の歳入と歳出により経理をする必要があるときに、条例で設置することができる会計を「特別会計」といいます。



◆国民健康保険特別会計

決算額は13億6,527万5千円で、主に保険給付費や県への事業費納付金に対する支出を行い、前年度に比べ5,532万円(3.9%)の減となりました。

◆介護保険特別会計

決算額は13億6,117万6千円で、主に保険給付費や地域支援事業費に対する支出を行い、前年度に比べ289万4千円(0.2%)の増となりました。

◆工業地域開発事業特別会計

決算額は7億8,081万6千円で、南条産業団地の土地を坂城町土地開発公社から取得し、希望する企業に売却を行いました。

◆下水道事業特別会計

決算額は8億4,233万3千円で、前年度に比べ2億4,299万5千円(23.2%)の減となりました。主に坂城・南条・中之条地区の整備を進め、4年度末の供用面積は595haで、下水道整備率は96%になりました。

◆後期高齢者医療特別会計

決算額は2億4,722万円で、保険料の徴収や窓口業務を行い、前年度に比べ1,571万5千円(6.8%)の増となりました。

地方債現在高 (町の借入金)

区 分	4年度末	3年度末	増 減	増減率
一 般 会 計	61億5,307万円	63億9,439万円	△2億4,132万円	△3.8%
下水道事業特別会計	52億6,836万円	54億9,875万円	△2億3,039万円	△4.2%
合 計	114億2,143万円	118億9,314万円	△4億7,171万円	△4.0%

4年度の一般会計の新規の長期借入金は、道路改良事業及び橋梁修繕事業、町体育館耐震補強工事などに係る地方債など3億3,226万5千円で前年度対比34.3%の減、また、長期借入金の償還額は、前年度対比2.1%増の5億8,653万4千円、一般会計の年度末現在高は前年度より2億4,132万円の減となり、下水道特別会計をあわせた町全体では4億7,171万円減少し、114億2,143万円となっています。

基金現在高 (町の積立金)

区 分	4年度末	3年度末	増 減	増減率
財 政 調 整 基 金	25億3,348万円	24億9,293万円	4,055万円	1.6%
減 債 基 金	7億3,110万円	7億2,921万円	189万円	0.3%
その他特定目的基金	31億3,733万円	30億1,691万円	1億2,042万円	4.0%
合 計	64億191万円	62億3,905万円	1億6,286万円	2.6%

(その他特定目的基金は、普通会計に属するもので、定額運用がなされる基金は含まれていません。)

4年度は、町温泉施設改修工事、町体育館大規模改修工事などに充当するため、びんぐし湯さん館施設整備等基金や文教施設等整備基金などから取り崩しを行いました。

また、予算の状況等を見ながら積立てを行い、年度末現在高は、前年度より1億6,286万円増の64億191万円となりました。

財政健全化判断比率 ～一層の健全財政に～

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による、財政健全化判断比率5指標(下表のとおり)について、監査委員の審査、議会への報告と公表が義務付けられています。5つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、更に財政再生基準を超えると、議会の議決を経て財政再生計画を策定したうえで、国の指導下で財政再建を図ることになります。

4年度の坂城町の指標はいずれも早期健全化基準を下回り、健全な状況で推移しています。

指 標	4年度末	3年度末	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率(%)	—	—	15	20
②連結実質赤字比率(%)	—	—	20	30
③実質公債費比率(%)	7.9	8.4	25	35
④将来負担比率(%)	—	—	350	
⑤資金不足比率(%)	—	—	(経営健全化基準) 20	

①・②・④は、黒字のため数値が入らないので「—」での表示となっています。
⑤は、資金不足がなく、数値が入らないことから「—」での表示となっています。

- ①**実質赤字比率** 普通会計において「歳入額から歳出額を差し引いた額」を標準財政規模で割った比率で、赤字の度合いを示します。坂城町は黒字のため数値は入りません。
※普通会計＝一般会計＋特別会計のうち普通会計に相当する会計(工業地域開発事業特別会計)
- ②**連結実質赤字比率** 普通会計とすべての特別会計を含め、地方公共団体全体としての赤字度合いを示します。坂城町は黒字のため数値は入りません。
- ③**実質公債費比率** 公債費負担の重さを示す指標で、過去3ヶ年の平均値で表します。算出にあたっては、地方債の元利償還金のほか、一般会計から下水道事業特別会計や一部事務組合の元利償還金に対する繰出金、負担金なども自治体の借金返済額に含めています。
- ④**将来負担比率** 一般会計の地方債残高のほか、下水道事業特別会計や一部事務組合、広域連合、土地開発公社に対する債務保証も含めた「自治体が背負っている実質的な債務」を標準財政規模で割った比率で将来的な負担の重さを示します。標準的な年間収入の何年分の債務があるかというイメージになっています。
- ⑤**資金不足比率(下水道事業)** 公営企業ごとに事業活動に必要な資金の過不足を示す指標です。町の下水道事業は、資金が充足されているため数値は入りません。

※令和4年度決算の詳細については、主要施策の実績報告書として町ホームページにも掲載しています。